

自己評価報告書

平成 23 年 5 月 15 日現在

機関番号：34517

研究種目：若手研究（B）

研究期間：2008～2011

課題番号：20790429

研究課題名（和文） ワークプレイス・トラウマの心理社会的影響並びに予防法・介入法に関する実証的研究

研究課題名（英文） Psychosocial effects of workplace trauma and empirical study on preventive and intervention method

研究代表者

大岡 由佳（OOKA YUUKA）

武庫川女子大学・文学部・講師

研究者番号：10469364

研究分野：精神保健福祉

科研費の分科・細目：社会医学・衛生学

キーワード：ストレス、トラウマ、職場

1. 研究計画の概要

ワークプレイス・トラウマの問題は、自らの職務遂行中に遭遇する出来事によって引き起こされるトラウマ（心的外傷）を指す。本研究では、労働者の職場における心的外傷（ワークプレイス・トラウマ）によって被る心理社会的影響を特定し、その予防法並びに介入法について検証していくことを主眼においている。本研究の最終目標は、1. ワークプレイス・トラウマの発生要因の特定、2. ワークプレイス・トラウマが及ぼす影響と就労状況の関連性の検討、3. ワークプレイス・トラウマの予防法と介入法の検証を行うことである。

2. 研究の進捗状況

平成 20 年度は、多岐にわたる文献整理から、現在、トラウマの事態が深刻であるにもかかわらず研究に着手されていない分野が福祉分野にあることが明らかになった。

平成 21 年度においては、ワークプレストラウマの研究対象分野として、児童福祉分野における児童虐待対応を行う現場に焦点をあて、調査研究を行った。そのところ、児童虐待対応を行うスタッフのストレスの背景には、児童虐待対応の大変さに加えて、法整備の問題や職員の専門職採用などの多岐にわたる関連課題が確認された。

平成 22 年度においては、ワークプレイス・トラウマの研究対象分野として、障害者福祉施設職員のワークプレイス・トラウマを検討した。22 年度前半は質的調査として、障害者福祉施設職員の管理職、中間管理職、若手職員に分けてインタビューを行った。22 年度後半では量的調査として、2 府県の障害者施設職員 1173 名からアンケート調査の回答を得

て、その結果をまとめた。その結果、職場のトラウマとしては、いじめやパワハラ、セクハラがもっともトラウマ症状を引き起こす結果となっていた。また、そのトラウマの影響は、長時間労働等の過酷な就労状況と密接に絡み合い、精神的な不健康像を示す結果となっていた。これらの職員が休職や離職に至ることは容易に想定ができる状況であった。平成 23 年度は、これらの結果を踏まえ、障害者福祉現場に焦点をあてて、これらの精神的な不健康状態に対する予防法と介入法の検証を行う予定である。

3. 現在までの達成度

研究計画の概要に記したように、本研究の目的は、ワークプレイス・トラウマの発生要因の特定と、そのトラウマが及ぼす影響と就労状況の関連性の検討、そして、トラウマの予防法と介入法の検証を行うことにある。平成 22 年度時点で、トラウマが及ぼす影響と就労状況の関連性まで検討が終わっている。今年度の課題としては、それらの結果を踏まえて予防法、介入法を明らかにしていくことになる。よって、現在までの達成度としては、おおむね順調に進展しているといえる。

4. 今後の研究の推進方策

22 年度の結果から、ワークプレイス・トラウマは心身の全般的メンタルヘルスと絡み合い不健康を形成していることが分かった。よって、職場のトラウマの心理社会的影響のみを抽出して予防法並びに介入法を検討することは、今後の対策を検討する上で、現場に有用な方法論の検討にならないと考えられる。そこで、23 年度の研究方策としては、トラウマの心理社会的影響も踏まえた上で、

メンタルヘルス不全に陥らないための職場づくりと共に予防法・介入法を検討することにする。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計2件)

(1) 大岡由佳, 山本耕平, 峰島厚, 加藤寛 (2010). 障害者福祉現場の職員が遭遇する出来事とメンタルヘルス. 心的トラウマ研究, 査読有 6, 41-52.

(2) 大岡由佳, 前田正治, 辻丸秀策 (2008). ワークプレイス・トラウマ受傷後のケア状況とその課題—病院における暴力等後の心のケア体制から考える—. (紀要) 久留米大学文学部紀要「社会福祉学科編」. 査読無, 8, 71-80.

〔学会発表〕(計2件)

(1) Yuuka Ooka. Working Conditions and Mental Health Among Staff in Japanese Welfare Facilities for People with Disabilities. SPA(Social Policy Association Conference), リンカーン大学, UK. (2010.7.5)

(2) 大岡由佳, 黒川奈緒, 山本耕平, 峰島厚. 障害者施設職員の労働状況とメンタルヘルス対策 日本社会福祉学会第58回大会, 日本福祉大学. (2010.10.10)

〔図書〕(計0件)

〔産業財産権〕

○出願状況 (計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

○取得状況 (計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕

峰島厚, 山本耕平, 北垣智基, 深谷弘和, 大岡由佳 (2011). 障害者施設職員のメンタルヘルス調査報告書. 1-133.